

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、参加予約票を受領後、弊社よりお送りする正式申込書及び渡航手続き書類にてご案内申し上げます。
◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃（65,000円）上記は2025年11月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
◆渡航手続諸費用（パスポートを新規取得、更新の方）：パスポート新規申請代（5年用11,000円／10年用16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要）このご旅行には2026年4月28日以降のパスポート有効期限が必要です。（+2週間以上の有効期限が望ましい）
◆お一人部屋追加料金：69,000円（ホテルは基本2名一室です）
※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
◆任意の海外旅行保険
◆超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
◆個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用（食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等）
◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は2025年11月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。
この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
＜取消料＞
お客様都合で旅行を取消す場合は下記の取消料をお支払いいただきます。
＜解除時期・取消料＞

契約の解除期日	取消料
旅行開始後日の前日から起算して遡って30日目以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費：旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金 ③宿泊費：旅程表に明示したホテル又は同等クラスのホテル（弊社基準）の基本宿泊料および税、サービス料（基本2名一室） ④食事代：旅程表明示 ⑤見学施設の入場料 ⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用 ⑧添乗員1名同行費用 ⑨視察・通訳費用
■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
④個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
⑤航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃65,000円）2025年10月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。⑥お一人部屋料金：69,000円
⑦日本国内の交通費、前泊の費用
⑧海外旅行傷害保険料

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4 総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

株式会社 富士国際旅行社

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201 Mail:henshu@fits-tyo.com 担当:西須・山田・伊藤・川村・小島

営業時間:月～金曜日/AM10:00～PM6:00 (休業日:土日・祝日) ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。

②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。

③ 弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**（旅行代金内金）をご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）

④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に旅行説明会を行います。

..... き・り・と・り

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 伊藤千尋さん&行く コスタリカから学ぶ旅 2026年4月18日(土)発

パスポート ローマ字表記		性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名		男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			1人部屋(追加費用¥69,000円)を希望【する・しない】	
連絡先	【tel】 () - 【fax】 () - 【携帯】 - - 【e-mail】				



平和・人権・環境・教育・男女平等大国を実現した国
コスタリカから学ぶ旅



旅行期間 **2026年4月18日(土)～4月27日(月) 10日間**

旅行代金 **855,000円** (成田発着) ※左記費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・日本空港施設使用料・保安料65,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定 員 **25名様** (最低実施人員**15名**)

添 乗 員 **1名同行します**

申込締切 **一次:1月16日(金)
最終:2月17日(火)**

同行者紹介

伊藤 千尋 さん
(いとう・ちひろ ジャーナリスト)

1949年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジブシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、40年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、精力的に執筆と講演を行っている。「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。東京都狛江市在住。主著に『凜とした小国』『9条を活かす日本 15%が社会を変える』『連帯の時代』など。

旅のポイント

- 国会や選挙最高裁判所を見学し、民主主義の在り方を考えます。
- コスタリカの福祉制度について学びます。
- 学校訪問し、コスタリカの平和教育の実践を学びます。
- コーヒー農園や希少な動植物の観察ツアーもお楽しみください。
- サンホセ市内のホテルに7連泊！

日次	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
① 4/18 (土)	成田空港発 メキシコシティ着/発 サンホセ着	航 空 便 航 空 便 専 用 車	成田空港集合 （集合予定時刻：午前7時30分頃） 空路、経由地メキシコシティへ（飛行時間12時間30分） 乗換え、空路、コスタリカの首都サンホセへ。（飛行時間3時間15分） サンホセに昼頃到着。日本語ガイドと合流し、ホテルへ。 午後：自由行動
② 4/19 (日)	サンホセ	専 用 車	午前：伊藤千尋さん講演会 午後：サンホセ市内見学（国立博物館や国立劇場など） 夕食：参加者交流会
③ 4/20 (月)	サンホセ発 サラピキ着	専 用 車	サンホセからサラピキ自然保護区へ 到着後、サラピキで自然エコツアー観察
④ 4/21 (火)	サンホセ	専 用 車	午前：国会見学 午後：選挙最高裁判所見学 夕方：ロベルト弁護士と懇談予定 ＞2003年、米イラク侵攻にコスタリカ大統領が支持を表明したことに 「違憲」と憲法裁判所に訴えた ※都合で不可の場合は杜・フィゲール・フェレル文化歴史センター
⑤ 4/22 (水)	サンホセ	専 用 車	午前：憲法小法廷（最高裁判所の第四法廷） 午後：コスタリカの福祉について学ぶ施設
⑥ 4/23 (木)	サンホセ	専 用 車	午前：コスタリカの学校を訪問（教育と民主主義について学ぶ） 午後：コスタリカ国連平和大学を訪問
⑦ 4/24 (金)	サン・ヘラルド・デ・ドータ サンホセ	専 用 車	早朝：世界一美しい鳥ケツァール観察 サンヘラルド・デ・ドータへ 昼頃、サンホセ市内到着 午後：コーヒー農園 ＞代表的な産業のコーヒーの農園見学・試飲 ★コスタリカで最後の夕食（参加者感想交流会）
⑧ 4/25 (土)	ホテル発・空港着 サンホセ発 メキシコシティ着/発	航 空 便 航 空 便	午前：空港へ移動（市内から約45分～60分） 昼過ぎ：空路、経由地メキシコシティへ（飛行時間3時間15分） 乗り継ぎ、空路、帰国の途へ（飛行時間17時間15分）
⑨ 4/26 (日)			＊＊日付変更線通過＊＊
⑩ 4/27 (月)	成田空港着		成田空港到着（予定時刻：午前6時20分頃）

※視察・交流は相手側のご都合で突然の変更・訪問箇所と日時が入れ替えとなることがあります。
●旅程表のマーク：B＝朝食、L＝昼食、D＝夕食、X＝自由食、機＝機内食 ●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料あるいはサービスが無くなった場合は各自でお取りいただきます。 ●予定航空会社：アエロメヒコ航空
●利用予定ホテル：サンホセ＝ラディソン、バルモラル、ヒルトン、バルセロ または同等クラスのホテル（2名部屋基準）

BOOK

伊藤千尋著／2023年／高文研

『コスタリカー「純粋な人生」と言いあう平和・環境・人権の先進国』

一つの国として平和のモデルを示したコスタリカ。本書は、中米の「小国」の選挙システムや憲法法廷、教育・医療制度、環境保護活動などを紹介しながら、自由と民主主義、人権「大国」で育まれる人びとの意識を探る。そして、平和を少しずつ目に見える形にしているコスタリカにない、日本の憲法9条をただ持っているだけでなく、9条を活かして世界に平和を広める努力を提言する。コスタリカを知れば希望が湧いてくる！
1,980円(1,800円＋税)



国立博物館より臨んだ民主主義広場(サンホセ)

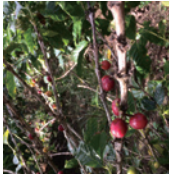


基本情報

人口 約512万人 **時差** 日本より15時間遅れ **宗教** カトリック教 **首都** サンホセ
人種 スペイン系および先住民との混血95％アフリカ系3％、先住民2％ **政治体制** 共和制、議会は一院制
気候 12月～4月の乾季が旅行におすすめ。年間を通してあたたかい。
服装は夏服で良いですが、サンホセのような標高が高い地域は夜に気温が下がり冷え込むので、カーディガンやジャケットをご用意ください。

「環境立国」コスタリカ

コスタリカとはスペイン語で「豊かな(Rica)海岸(Costa)」の意味。海に囲まれ、中央に山脈が連なる風光明媚な国です。手塚治虫の「火の鳥」のモデルともいわれるケツァールなどカラフルな鳥も生息しています。2002年に憲法に「環境保障」と題する章を追加。現在、国土の1/4が国立公園・自然保護区となっており、エコツーリズムが盛んです。また国内電力の93％を再生可能エネルギーでまかなっています。



平和を「輸出」する国

コスタリカは国連や米州機構(OAS)を中心とした外交を展開しています。過去3階にわたり、国連安保理非常任理事国を務め、国際場裡では特に平和、人権、環境、軍縮・不拡散の分野で存在感を発揮しています。

コスタリカの農業

一人当たりのGDPがパナマに続く第2位と中米諸国の中では豊かな国のコスタリカ。主要産業の伝統的な農畜産業では、良質のコーヒー豆やバナナなど伝統的な農産品のほかに近年はパイナップルやメロンなど新しい農産品の生産にも意欲的に取り組み、成功を収めています。また、アメリカを含む中南米諸国と自由貿易協定(FTA)を結んでいます。

国会、最高裁判所法廷

1949年高度に民主主義な性格を持つ現行憲法が制定されました。以降、コスタリカは一度も軍事クーデターを経験せずに大統領が民主的な選挙によって選ばれており、中米で最も進んだ民主主義国との定評を得ています。2010年には初の女性大統領(チンチージャ大統領)が誕生。閣僚や国会議員も女性の割合が高く、女性の社会進出も活発です。2022年5月からロドリゴ・チャベス・ロブレス大統領が就任。2026年2月には大統領選挙があります。コスタリカでは子どもからお年寄りまで憲法の違憲訴訟を起こすことができ憲法裁判所があります。



国会(議会場)